

2017年12月25日  
株式会社日本政策金融公庫

## 信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2017年度下期調査)

- 【概況】
- ・中小企業向け貸出D.I.は、引き続きプラスで推移
  - ・信用保証付貸出D.I.は、引き続きマイナスで推移
  - ・条件変更D.I.及び代位弁済D.I.は、引き続きマイナスで推移

### 【中小企業向け貸出】

○中小企業向け貸出D.I.は、4.0と10期連続でプラスとなるも、やや低下。次期見込みは、横ばいの3.1。

### 【信用保証付貸出】

○信用保証付貸出D.I.は、▲17.3と13期連続でマイナスとなり、マイナス幅はやや拡大。次期見込みは、▲14.5とマイナス幅はやや縮小。

### 【信用保証付貸出における条件変更】

○条件変更D.I.は、▲8.9と11期連続でマイナスとなり、マイナス幅はやや拡大。次期見込みは、▲7.2とマイナス幅はやや縮小。

### 【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

○代位弁済D.I.は、▲6.6と9期連続でマイナスとなり、マイナス幅はやや拡大。次期見込みは、▲5.3とマイナス幅はやや縮小。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険分析グループ（担当：辰口、野口、土田）

TEL：03-3270-2384 FAX：03-3242-0033 E-mail：cnhbunseki@jfc.go.jp

本資料は日本銀行金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

## ＜調査の要領＞

調査時点	2017年10月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	267の金融機関(都市銀行5、地方銀行64、第二地方銀行41、信用金庫133、信用組合24) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	250の金融機関(都市銀行5、地方銀行57、第二地方銀行38、信用金庫128、信用組合22)
回答率	93.6%

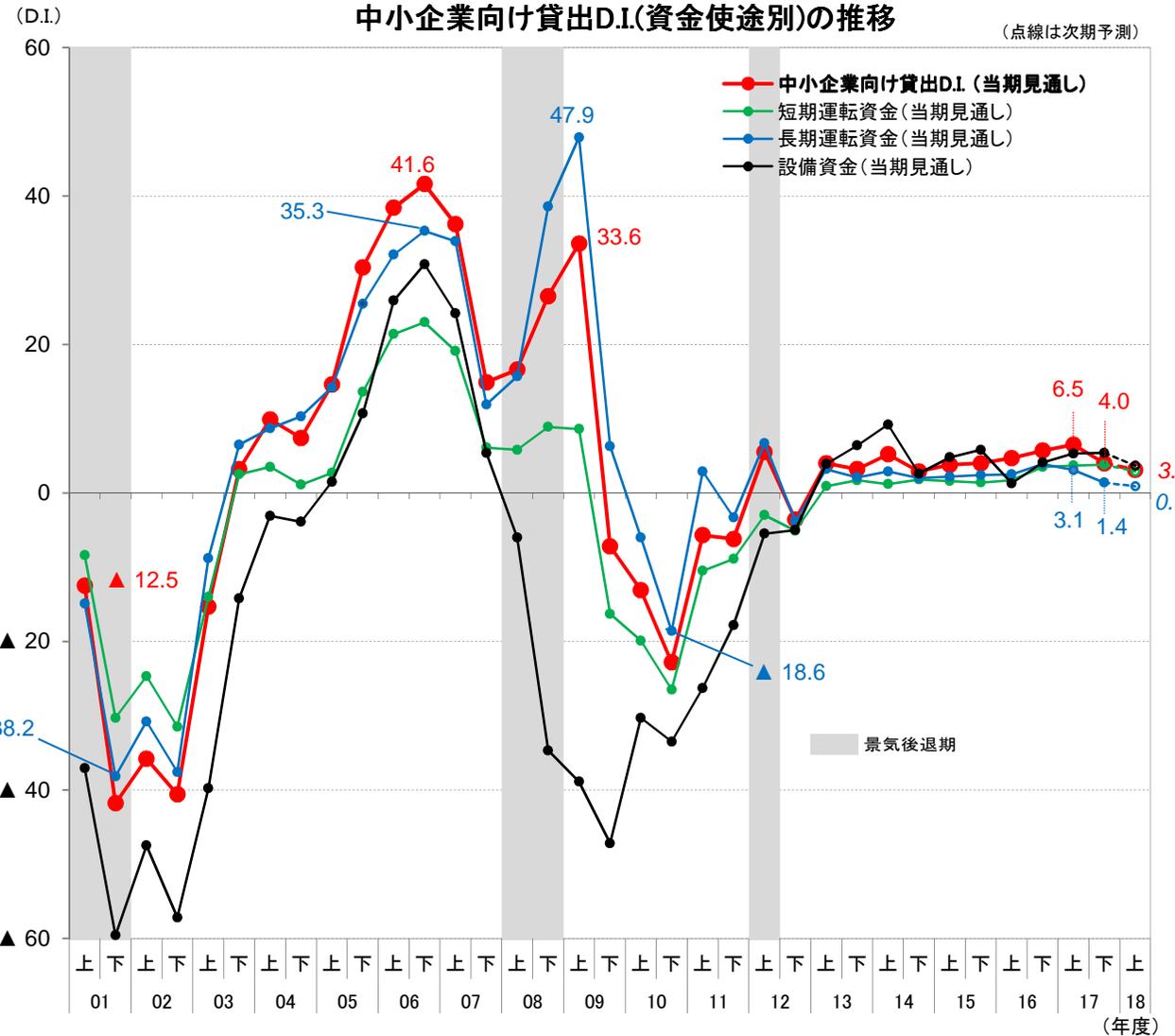
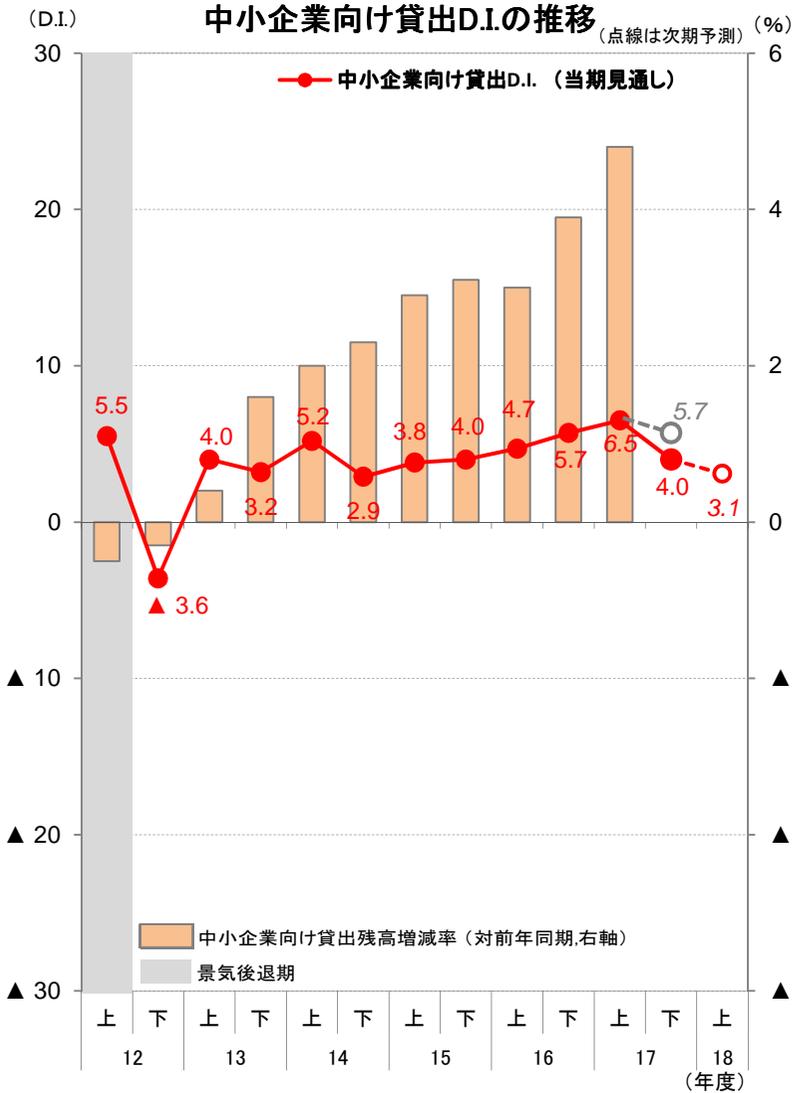
(注) D.I. = (「増加」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや増加」と回答した金融機関の割合) - (「減少」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや減少」と回答した金融機関の割合)。  
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

東北・北海道【26/34】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
 関東甲信越【85/87】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野  
 東海・北陸【49/52】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井  
 近畿【35/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
 中国【19/19】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口  
 四国【9/9】: 香川、徳島、高知、愛媛  
 九州・沖縄【27/29】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄  
 (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

# 1. 中小企業向け貸出の動向について

- ◆ 中小企業向け貸出D.I.は、2013年度上期以降、10期連続でプラスとなるも、やや低下。次期は横ばいの見込み。
- ◆ 資金用途別にみると、長期運転資金は1.4とやや低下。次期は横ばいの見込み。

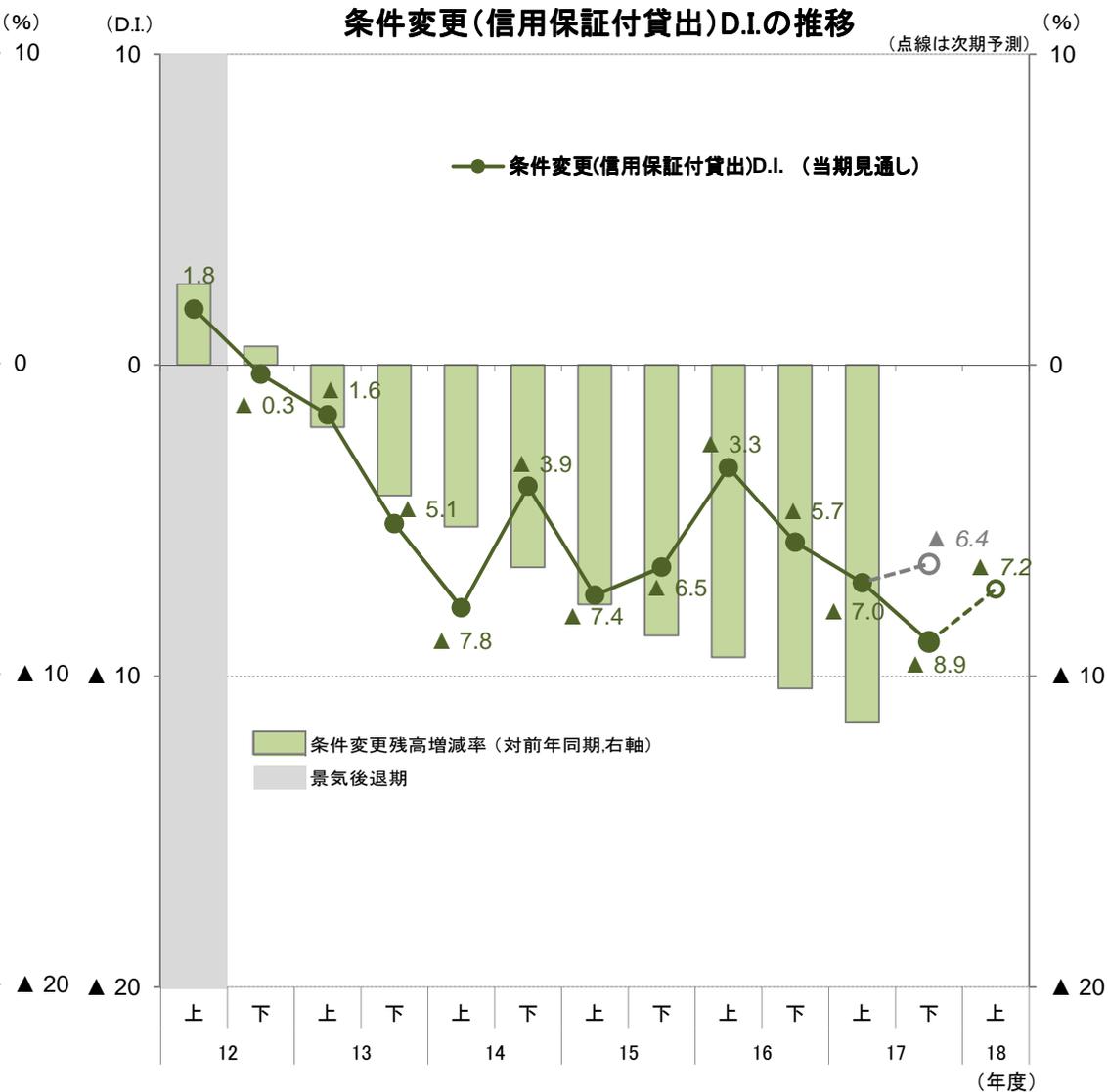
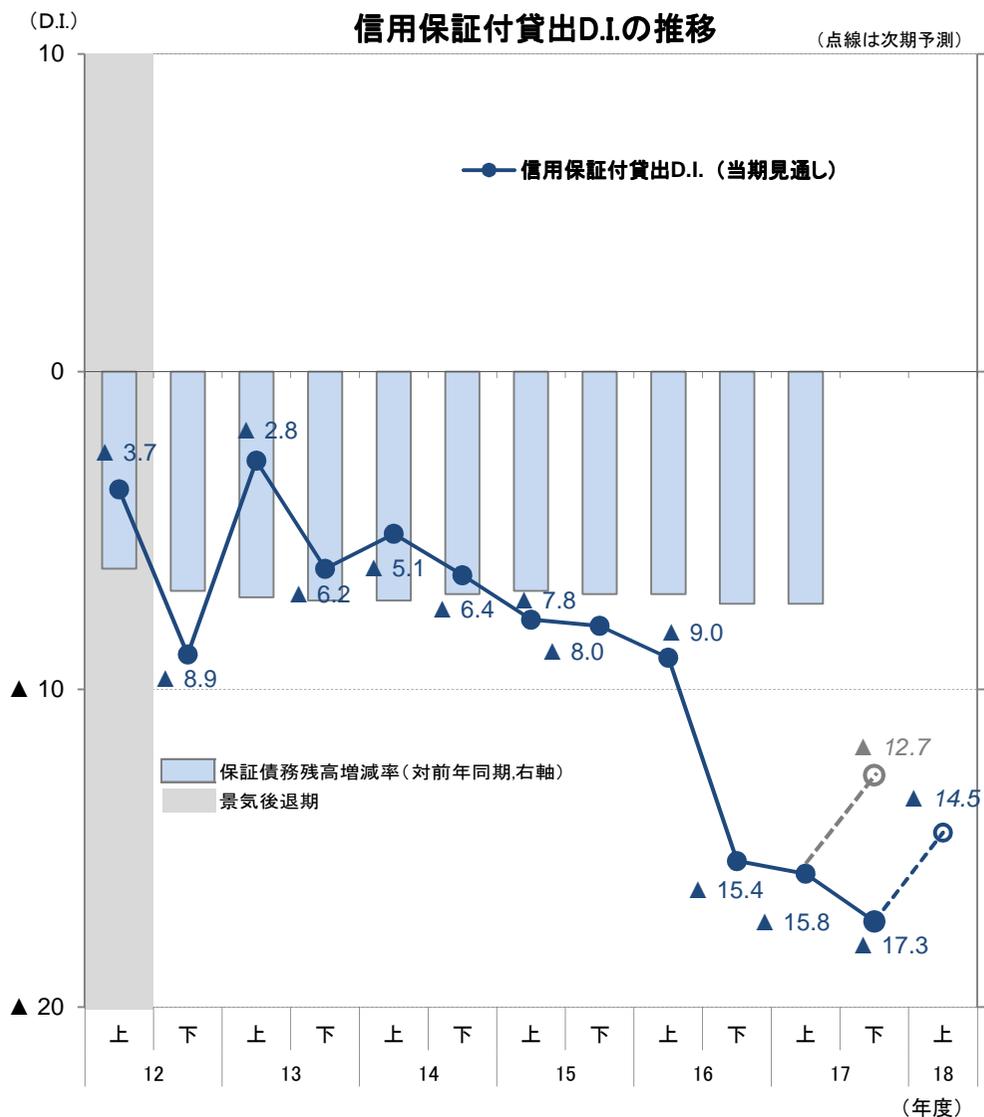


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

## 2. 信用保証付貸出の動向について

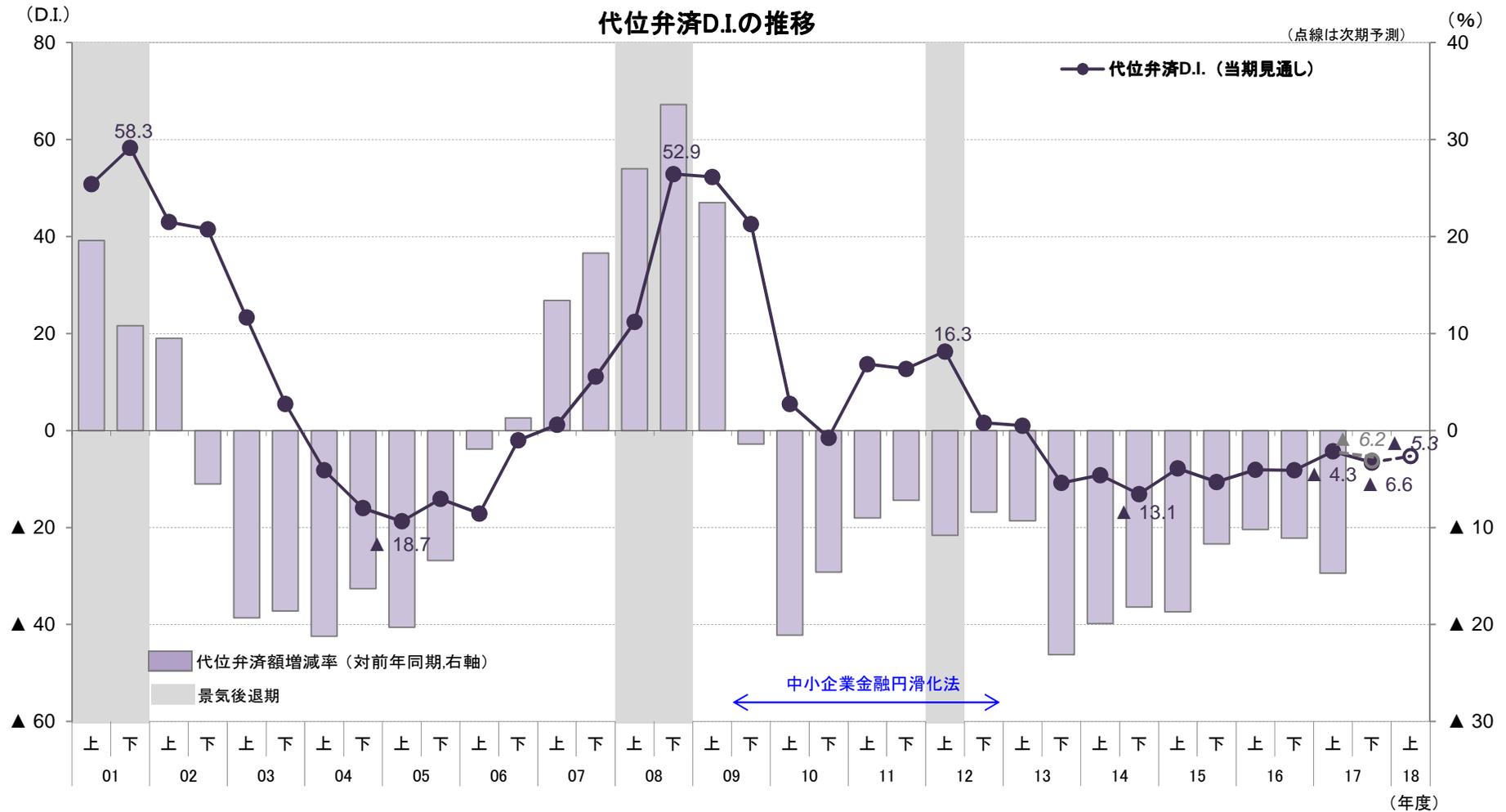
- ◆信用保証付貸出D.I.は、2011年度下期以降、13期連続でマイナスとなり、マイナス幅はやや拡大。次期はマイナス幅はやや縮小の見込み。
- ◆信用保証付貸出における条件変更D.I.は、2012年度下期以降、11期連続でマイナスとなり、マイナス幅はやや拡大。次期はマイナス幅はやや縮小の見込み。



(注)2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

### 3. 代位弁済の動向について

◆代位弁済D.I.は、2013年度下期以降、9期連続でマイナスとなり、マイナス幅はやや拡大。次期はマイナス幅はやや縮小の見込み。



(注1)2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

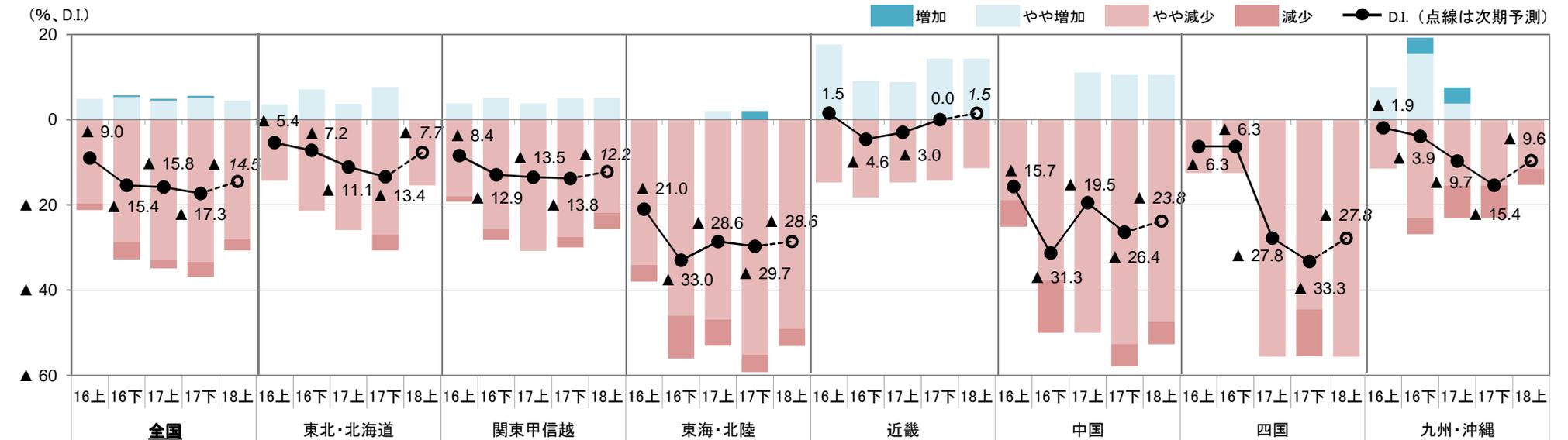
(注2)2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

# 参考編

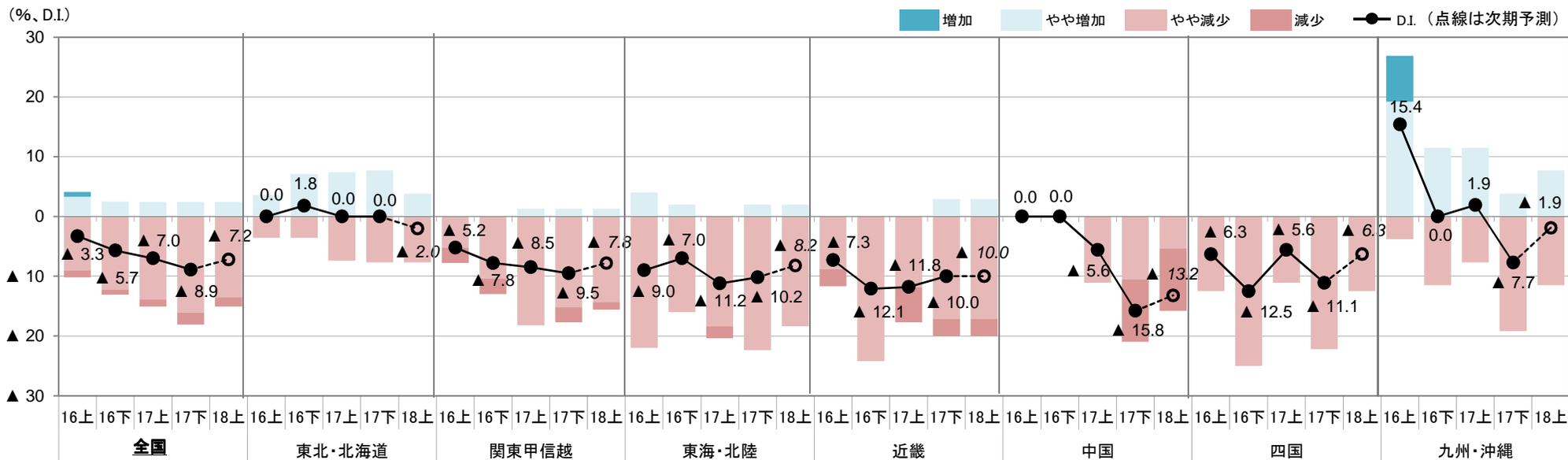
# 1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】



# 2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



### 3. 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移【地域別】



### 4. 代位弁済D.I.の推移【地域別】

